



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2014-2015年度 国際ロータリーのテーマ

2015年



クラブ会報・情報委員会

LIGHT UP ROTARY

R.I 会長 **ゲイリー C. K. ホアン**

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー **前原 勝樹**

会長 **坪井 良廣** 幹事 **須永 博之**

後藤圭一・桑原志郎・塚越平人・吉野雅比古・立澤俊明

1月26日号

第2928回例会

(1月19日(月)第2例会)

1. 点 鐘
2. ロータリーソング斉唱
3. 来訪者紹介
4. ロータリー情報アワー
5. 新会員入会式

桐生信用金庫 代表理事 理事長 津久井真澄君
推薦の言葉 本田雄一郎君
さかいのクリニック 院長 阿部 篤朗君
推薦の言葉 藤江 篤君
平岩社会保険労務士事務所 所長 平岩千鶴子さん
推薦の言葉 飯塚荘一君

・バッチの贈呈

・歓迎の言葉

会長 坪井 良廣君

6. 会長の時間

7. 幹事報告

8. 委員会報告

9. 卓 話

「桐生商工会議所 その歴史と役割」について

桐生商工会議所 会頭 山口 正夫 様

10. 点 鐘

ようこそビジター

卓話者 桐生商工会議所 会頭 山口 正夫 様

桐生商工会議所 専務理事 石原 雄二 様

ロータリー情報アワー

会員研修委員長 養田 隆 君

1月は、ロータリー理解月間ですが、この月間は、会員にロータリーについて知識と理解を一層深めてもらい、それと同時に一般の人々にもロータリークラブの事を良く知ってもらう為のプログラムを実施する月間であります。今日は、これから新会員の入会式もありますので、会員の皆様は当然知っておる訳ですが、改めてロータリーの誕生とその成長と言う事を理解推進月間にちなんで話したいと思っております。20世紀初頭のアメリカ・シカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道徳の欠如が目につくようになっておりました。ちょうどその頃、シカゴに事務所を構えていました青年弁護士、ポール・ハリスはこの風潮に耐えかねて、友人3人と語らって、お互いに信頼できる取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係まで発展するような仲間を増やしたいという趣旨でロータリークラブと言う会合を考えた訳です。ロータリーとは、集会を各自の事務所の持ち回りで順番に開くことから名付けられました。こうして、1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。それから、志を同じくするクラブが次々と各地に生まれ、現在では200以上の国と地域に広がり、クラブ数34,558クラブ、会員総数1,220,115人 2014年10月1日RI公式発表に達しております。そして、これらの世界中のクラブ連合体

を国際ロータリーと称する訳です。このような歴史的に見てもロータリーとは、職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を向け、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたり多大な貢献をしています。又、日本で最初のロータリークラブは、1920年 大正9年 10月20日に創立されました東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に世界で855番目のクラブとして国際ロータリーに認証されております。日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕として海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと創立の準備に奔走した米山梅吉翁などの大先輩の功績を忘れることができません。その後の日本のロータリーは、第二次世界大戦の波に洗われ、1940年に国際ロータリーから脱退します。そして、戦後1949年3月に再び復帰加盟となる訳です。その後の日本のロータリーの発展には目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も大であり、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになっております。現在日本のクラブ数は、2,278クラブ、会員数は88,915名 2014年10月末現在となっています。これが日本のロータリーの現状であります。

新会員入会式



桐生信用金庫
代表理事 理事長
津久井 真澄 君



さかいのクリニック
院長
阿部 篤朗 君



平岩社会保険労務士事務所
所長
平岩 千鶴子 様

歓迎の言葉

会長 坪井 良廣君
津久井真澄君、阿部篤朗君、平岩千鶴子さん、ご入会おめでとうございます。桐生ロータリークラブの会員は、明るく楽しい、そして気さくなロータリアンばかりです。現在、世界のロータリアン 34,558 クラブ 1,220,115 人、日本のロータリアン 2,276 クラブ 88,582 人です。

桐生ロータリーは、本日入会の皆さんを含めると、66 名となり70名まであと少しです。現在、地域と密着した奉仕活動と国際奉仕活動を中心に活動しています。ロータリークラブでは、

- (1) 異なった仕事をされている方々と知り合いになれ、たくさんの友人を作ることができます。
- (2) 社会に役立つ奉仕活動に参画する事ができます。
- (3) 社会に役立つ奉仕活動を通じて地域や国際社会の人々と共感を得ながら活動の輪を広げることが出来ます。
- (4) 仕事や専門的な分野での活動の道徳的な水準を高めることができます。

皆さんに早く桐生ロータリークラブに馴染んでいただく事をお願いいたしまして歓迎の言葉といたします。

会長の時間

大変寒さの厳しい日が続いております。風邪やインフルエンザが流行っております。体調には十分に気をつけていただければと思います。

今年のお正月は、私の寺での1日から5日までの厄除けに始まり、4日の桐生倶楽部新年互例会、5日の桐生ロータリークラブ新年初例会、7日の桐生商工会議所新春互例会、15日の桐生青年会議所新年会、17日の5ロータリー会長幹事会、と結構忙しい新年でした。

1月は、ロータリー理解推進月間

ロータリアンでない人たちにロータリーを知ってもらうツールとして、ホームページや Facebook などの SNS を活用するクラブが増えてきました。

木島年度の報告書に綴り込んでありますが、20年前の「1995年12月24日に、桐生ロータリークラブと桐生ロータリーアクトクラブがホームページ開設しました。」ネット



で調べると、1995年6月に、ドメインの申請が始まりました。たぶん桐生ロータリークラブのHPは、日本で最初のHPです。ロータリーアクトクラブのHPには、日本で最初のロータリーアクトクラブHPと書かれています。

今日の卓話は、桐生ロータリークラブの会員でもあり、新進気鋭の桐生商工会議所会頭の山口正夫さんです。ためになる、お話を期待したいと思います。

(報告)

- ・1/7 桐生商工会議所新年互例会 会長出席
- ・1/8 IM 懇親部会 美喜仁館
- ・1/12 成人の日(祝日)の為、休会
- ・1/15 桐生青年会議所新春互例会 会長出席
- ・1/17 桐生 5RC 会長幹事会 13時桐生プリオパレス 会長、幹事、竹内ガバナー補佐、牛腸 IM 実行委員長、本田 IM 副実行委員長

(予定)

- ・1/19 IM 事業部会 海鮮ダイニング美喜仁館

幹事報告

・竹内ガバナーより、ロータリーの友12月号(P.25)に掲載されておりました「日本のロータリー2020年新世紀ビジョン提言」と題し、ロータリアンの皆さまから新世紀に向け建設的なご提言を頂きたいとの内容の記事になっておりましたので、是非、この素晴らしい機会に、会員の皆様よりガバナー会へご提言をお寄せ下さいませようご案内が届いております。

・米山記念奨学会より、1977 - 79年に当クラブ米山奨学生だったファン・コク・ハンさんからのメールと「ハイライトよねやま」が届いております。

・群馬境 RC より、1/29(木)例会のミニライブのご案内が届いております。

・日本てんかん協会より「からっかぜ」が届いております。

・わたらせ養護園より「とんがりやね」が届いております。

・桐生南、桐生西、桐生赤城の各RCより週報到着。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成27年1月19日)

総員 66名:出席 45名

平成26年12月15日例会修正出席率:91.23%

平成26年12月22日例会修正出席率:75%

😊 ニコニコボックス

坪井良廣君、牛腸章君、須永博之君、桑原志郎君...桐生商工会議所会頭をお迎えして / 柳明彦君...山口会頭、石原専務理事をお迎えして / 山口正夫君...卓話をさせていただきます / 坪井良廣君、須永博之君、柳明彦君...新入会員の皆様ようこそご入会頂き歓迎致します / 堀明君、牛腸章君、山口正夫君、村田勝俊君、水越稔幸君...津久井理事長の入会を祝して / 田中一枝さん...阿部 Dr.の入会を祝して / 平岩さんの入会をしゅくして...大友一之君、飯塚莊一君 / 須永博之君...山崎一順会員から希少なブラックスワンの写真を頂きました。ありがとうございます / 園田誠君、桑原志郎君...誕生祝 / 荒木千恵子さん、岡野紀子さん、田中一枝さん...写真を戴きました。

卓話



「桐生商工会議所
その歴史と役割」について

桐生商工会議所
会頭 山口 正夫 様

商工会議所とは

・商工会議所は、民間の商工業者の自主的意思により、商工業者自らが組織している団体。

商工会議所のルーツ

1599年世界初のフランス・マルセイユ商業会議所設立
日本における商工会議所の主な歴史

明治11年3月 日本初の「東京商法会議所」設立
(初代会頭・渋沢栄一)

・商工業者の声を国の政策に反映させるために発足以来、行政への意見具申は、今日に至るまで最も重要な活動

・英国の商工会議所(加入・脱退自由、会員会費により運営)を模範に設立

明治23年 全国の経済の発展と国際化の進展に伴い、会議所制度の強化が必要とされ条例が施行

明治25年 全国15の商業会議所が商業会議所連合会を設立(日商の前身)

昭和28年8月 商工会議所の機能強化のため、幾多の変遷を経て、現在の商工会議所法が成立
(議員立法、同年10月施行)

商工会議所の特徴と使命

・商工会議所の4つの特徴 「商工会議所」のDNA

地域性 地域を基盤としている

総合性 会員はあらゆる業種・業態の商工業者から構成される

公共性 商工会議所法に基づき設立される民間団体で公共性を持っている

国際性 世界各国に商工会議所が組織されている
商工会議所の主なミッション

(1) 政策提言 一歩先んじた政策提言を展開

(2) 中小企業の活力強化

中小企業の成長への挑戦を全力で後押し

(3) 地域経済の活性化

地域の力を再生させる取り組みを強力に推進

桐生商工会議所の主な歩み

・桐生商工会議所設立の経緯と主な歩み

明治33年 桐生懇話会発足

商工会議所の設置について討議

昭和6年 桐生市は勸業委員会を開き、商工会議所設立への具体案を検討、商工団体の代表53人が集まり商工会議所の創立を決定

昭和11年 桐生市商工懇話会が発足
会議所の前身的な機能を果たす

昭和15年 桐生商工会議所設立(4月5日)

昭和29年 新法による特殊法人桐生商工会議所が設立

昭和57年 青年部会(現青年部)設立

初代会長に山口正夫氏

平成2年 桐生商工会議所創立50周年
記念式典開催、記念誌を発行

平成5年 桐生商工会議所会館落成

桐生商工会議所設立の趣旨

『産業都市桐生は大正10年3月市制施行以来、各般の施設漸次整備し、市勢の発展著しく、昭和8年4月には境野村を、昭和12年4月には広沢村を合併して今や人口10万、戸数17,600、工業戸数7,400、商業戸数4,500を算するに至れり。

商工業者の指導機関としては、桐生織物同業組合ありて、多年斯業の発展に貢献せり。また、近時商業組合、工業組合相次いで設立せられつつあるも、是等の組合に属せざる商工業者も多数あり。殊に織物関係以外に於いては有力なる団体少なく、非常時局に際し遺憾の点多きを以て、客年7月、この種団体を以て桐生実業組合連合会を組織し、応急の措置を為しつつある状況にして、この際、各種商工業者を網羅し、強固なる商工機関を設置するは蓋し焦眉の急なりと信ず。而して梅田村、川内村、相生村は桐生市に隣接し、桐生市と経済事情を一にし、これを産業上より見るときは全然同一地区にして現に桐生織物同業組合は勿論各有力団体の区域内に在るの状況なるを以て下名等発起人となり、桐生市及び梅田村、川内村、相生村の区域を以て区域とする桐生商工会議所を設立し以て桐生地方商工業の改善発達に寄与せむとする所以なり。』

桐生商工会議所の組織

桐生商工会議所の役割

全国で126万事業所を有する会員組織である一方、地域経済全体の活性化を支援

・地域の総合経済団体として、地区内における商工業の総合的な改善発達を図り、兼ねて社会一般の福祉の増進に資する。

桐生商工会議所の組織

商工会議所は民間経済団体として設立・運営

商工会議所法は、商工会議所の組織を規定しているものであり、その設立運営には民間経済団体としての自主性が確保されている

会員のニーズに対応し、多岐にわたる活動を展開

自己財源により幅広い活動を実施

- 中小企業・小規模事業者を協力をサポート
- ・調査・研究活動
- ・経営支援
- ・金融支援
- ・意見具申活動 政策提言
- ・国等の補助金事業に対する申請支援
 - まちづくり・産業観光・ものづくり
- ・まちづくりの推進
 - 旧通産省の繊維ビジョン
 - 産地の再生 地域の産業振興と魅力的なまちづくりを一体的に促進
 - ファッションタウンビジョンの策定 H5 年度
 - ファッションタウン桐生推進協議会設立 H9 年度
 - 平成 8 年 11 月に第 1 回桐生ファッションウィーク開催
 - このまち浪漫 産業と文化のまつり
 - 桐生の FT を表現する秋のイベントに成長し
 - 今年で 20 回を迎える桐生ファッションウィーク
- ・産業観光の推進
 - ノコギリ屋根工場の活用による産業観光の推進
 - ノコギリ屋根工場をクローズアップ
 - 桐生の産業が創り出した風景・

桐生独自の風景・景観

織物製造の現場として、まちの繁栄を支えてきた“ものづくり精神が宿る”「ノコギリ屋根工場」から新たなものづくりが始まっている。これらの動きを産業観光を切り口として、全国に発信し、地域活性化につなげていくためのプロジェクトを展開。

- ・ものづくりの推進
 - 桐生商工会議所は、新商品開発、販路開拓、後継者育成、技術の伝承などに独自の視点からユニークな取り組みを進めている
 - ・「Room of KIRYU」開発事業
 - ・桑やシルクを地域資源とした体験型観光プログラムの開発事業
 - ・桐生の伝統繊維産業とアニメ関連コンテンツとの融合プロジェクト

これからの桐生商工会議所
桐生商工会議所の平成 26 年度スローガン
桐生・みどり両市の合併を産業界を産業界から促進しよう
中小・小規模事業者の経営を強力にサポートしよう
近代化遺産や地域資源を活用した産業観光を推進しよう
産学官の連携を深め、21 世紀型の産業創出に取り組もう

会員増強に取り組み、会議所の活力強化を図ろう
桐生商工会議所中長期ビジョンの策定
桐生地域の実情や解決すべき諸課題の共有化を図り、それをもとに行政、団体、市民、事業者を巻き込んだ地域全体としての方向性をビジョンとして取りまとめていく必要がある

【桐生地域活性化における主要課題】

桐生地域が自らの力で地域外の需要の取り組みや交流人口の拡大によって、消費・生産両面での活動を促し、雇用創出にもつながる産業を育成していくことが重要

地域固有の資源の徹底活用により、産品・サービスを創出、広く販路を開拓し観光需要の創出を行うこと
既存産業の高度化や新産業創出のため、産学金官連携、農商工連携等による人材・技術・ノウハウ・資金等の相互補完の仕組みづくり

桐生商工会議所自らのリーダーシップと責任により事業推進。
そのために実施すべき具体的な活動・手法を構築

当所で過去に策定したファッションタウン・ビジョン、産業観光ビジョンなどを踏まえ、先行して策定している「経営発達支援計画」と連動した桐生商工会議所の中長期ビジョンを策定する(平成 27 年度から)

桐生商工会議所経営発達支援計画の策定
「商工会及び商工会議所による小規模事業者の支援に関する法律」(小規模支援法)が改正され、商工会議所が作成する「経営発達支援計画」を国が認定
桐生商工会議所は平成 27 年第一次認定を目指し、支援計画を策定中

【例会予告】

- | | |
|----------|---------------------------------|
| 2月 2日(月) | 卓 話
みどり市長 石原 条 様 |
| | 食 事 やまもと |
| 9日(月) | 卓 話
高橋 弘史 君 |
| | 食 事 ソイストーリー |
| 16日(月) | 卓 話
群馬県繊維工業試験場
場長 上原 英之 様 |
| | 食 事 富 田 |
| 23日(月) | 21日(土) IM に振替の為、休会 |
| 3月 2日(月) | 夜間例会
近藤酒造酒蔵見学、赤城山利き酒会 |